

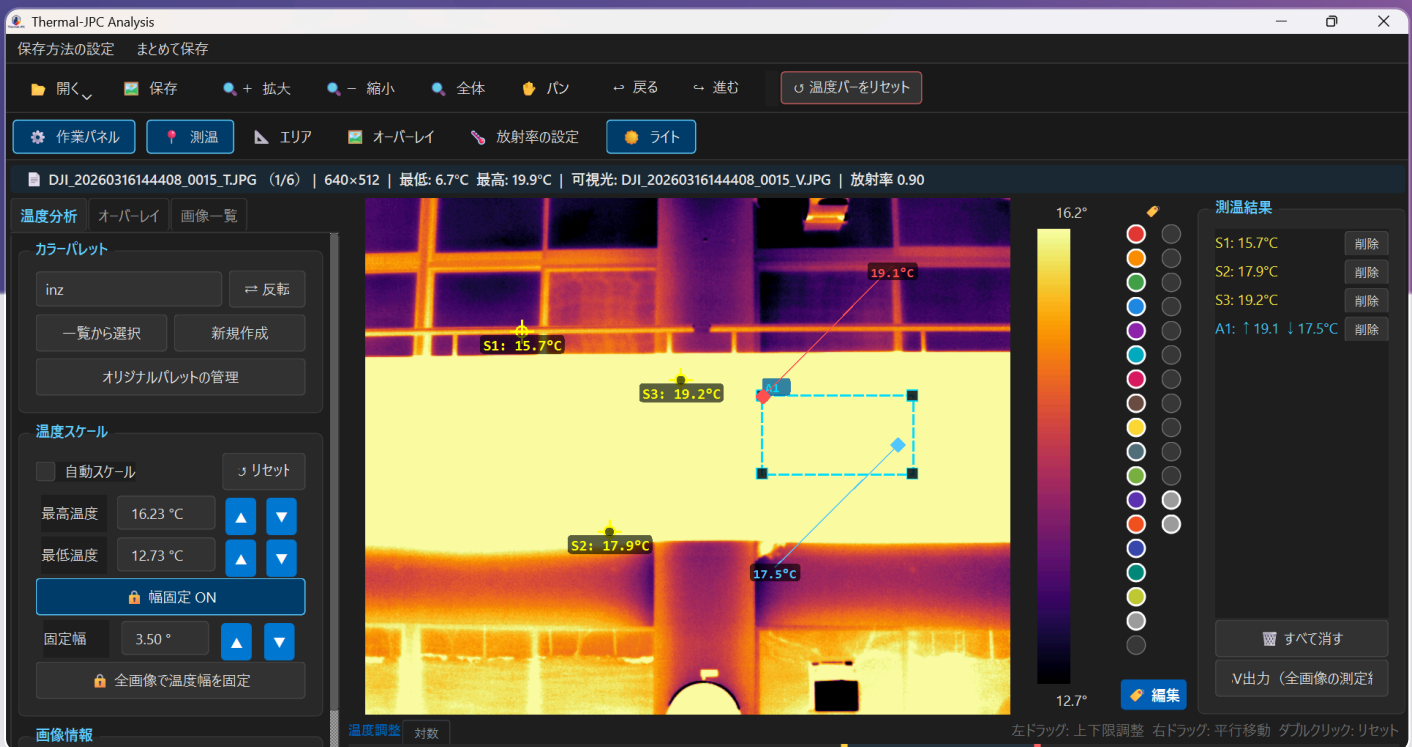


Thermal-JPC Analysis

DJI 赤外線ドローン画像のための 建物診断解析ソフト

2026年9月版 (Ver 1.3 対応)

Matrice 4T / 3T / 30T などDJI製赤外線ドローンで撮影したR-JPEG画像を、変換なしでそのまま読み込みます。外壁の赤外線調査（12条点検・雨漏り診断など）に必要な温度分析・測温・可視光との重ね合わせ・報告書用画像の一括出力を、1本のWindowsアプリで完結させます。



Thermal-JPC Analysis Ver 1.3 の解析画面（可視光オーバーレイ・スポット／エリア測温・温度幅固定）

変換不要

DJI Thermal SDK 経由で温度データを直接取得。事前の書き出し作業がいりません

ローカル処理

解析はPC内で完結。調査画像を外部サーバーへ送信しません

買い切りライセンス

月額費用なし。認証後はオフラインで利用できます

国産・日本語UI

日本の建物調査実務に合わせた設計とサポート



1 製品概要

Thermal-JPC Analysis は、DJIの赤外線カメラ搭載ドローンで撮影した放射温度画像（R-JPEG）を解析する、建物調査向けのWindowsデスクトップアプリです。DJI純正ツールでの解析に手間を感じている方、複数枚の画像を同じ基準で効率よく確認したい方に向けて開発しました。

主な特長

DJI R-JPEG をそのまま解析

Thermal SDK 経由で温度データを取得。熱画像（_T）と可視光画像（_V/_W/_Z）はタイムスタンプで自動ペーリング。

可視光オーバーレイ

赤外線と可視光を重ねて透明度をスライダー調整。位置・倍率の調整をフォルダ全体へ一括適用。四角/円マスクで注目箇所を切り抜き。

柔軟な温度分析

複数の内蔵パレットとオリジナルパレット作成。ヒストグラム上のドラッグでレンジ調整、対数表示で微小な高温部も確認。

スポット / エリア测温

クリックで点、ドラッグで範囲の温度を表示。放射率・距離・反射温度・湿度と材質プリセットを测温値に反映。Ctrl+Z/Yで取り消し。

報告書用画像の一括出力

パレット・温度レンジ・测温結果を焼き込んだPNGを、フォルダ内全画像でまとめて保存。オーバーレイ合成・可視光も同時出力。

大量画像の整理

サムネイル付きフィルムストリップと画像一覧タブ、不要画像の除外指定。画像ごとの分析状態を記憶し、切り替えても保持。

調査ワークフロー

撮影

赤外線ドローンで
外壁を撮影

読み込み

フォルダを開いて
一括読み込み

分析

レンジ調整・测温
重ね合わせ

整理

不要画像の除外
状態を保持

出力

PNG・CSVを
まとめて保存

対応機種・対応形式

動作確認済み機種: DJI Matrice 30T、Matrice 3T、Matrice 4T 対応形式: DJI R-JPEG（DJI Thermal SDK 対応機種の画像）

※ その他の DJI Thermal SDK 対応機種は対応見込みです。温度データを含まない画像（FLIR形式・可視光写真など）は解析対象外となり、原因と対処を画面上で案内します。

こんな業務に

外壁赤外線調査（建築基準法12条点検）

タイル・モルタルの浮き診断

雨漏り・漏水の原因調査

屋上防水の劣化診断

大規模修繕の事前調査

調査報告書の画像作成



② 機能一覧

画像の読み込み

フォルダを開く	熱画像を一括読み込み。サムネイル付きブラウザで選択
ファイルを開く	個別選択。開いている一覧へ追加（別フォルダも可）
可視光ペアリング	同一タイムスタンプの_V/_W/_Zを自動検出・画像ごと切替
クラッシュ復元	異常終了時、次回起動でフォルダと分析状態を復元

温度分析

カラーパレット	Inferno・Iron 系ほか内蔵、反転表示、オリジナル作成
温度スケール	自動 / 上下限の手動指定、幅固定でのレンジ移動
ヒストグラム	左ドラッグで上下限、右ドラッグで平行移動、対数表示
画像情報	機種・焦点距離・F値・解像度・撮影日時（EXIF）
状態の保持	パレット・レンジ・測温結果を画像ごとに記憶

測温

スポット測温	クリック点の温度を S1, S2... として表示
エリア測温	ドラッグ範囲の最高・最低温度を表示
測定条件	放射率・撮影距離・反射温度・湿度、材質プリセット
取り消し / やり直し	Ctrl+Z / Ctrl+Y（履歴は画像ごとに独立）
焼き込み	保存画像にラベルと温度を焼き込み

可視光オーバーレイ

重ね合わせ	透明度スライダー、赤外線 / 可視光ベース切替
位置・倍率	ドラッグ移動、倍率の数値指定、リセット
一括適用	現在の位置・倍率をフォルダ全体へ適用
マスク	四角 / 円マスクで注目箇所を切り抜き、一括消去

整理・保存・出力

除外	不要画像を除外指定、除外画像を隠して表示
保存（1枚）	分析結果を焼き込んだ PNG で保存
まとめて保存	フォルダ内全画像（除外を除く）を現在の設定で一括保存
出力の種類	_IR / _composite / _VIS / _zoom / _zoom_fullsize、可視光JPEG
CSV出力	全画像の測温結果（画像名・スポット / エリア温度）

画面・操作

作業パネル	温度分析 / オーバーレイ / 画像一覧の3タブ
表示操作	拡大・縮小・全体・パン、ホイールズーム
テーマ	ダーク / ライト切替（設定保存）
ショートカット	Ctrl+O 開く Ctrl+Shift+O フォルダ測温 M オーバーレイ

Ver 1.3 で追加された主な機能（2026年9月）

マーク機能 — 画像に「劣化あり」「要確認」などの色ラベルを付けて整理。マークで絞り込み表示、色ごとにフォルダ分けして一括保存 / **全画像で温度幅を固定** — 色の基準をそろえたまま画像ごとに温度帯を調整 / **キーボードで画像送り**（→/D、←/A） / **エリア測温の頂点修正** — 範囲をあとから頂点ドラッグで調整 / **機種別の可視光初期倍率**（M30T / M3T / M4T） / 画像一覧からの除外指定、温度バーのリセット ほか



3 動作環境・ライセンス・導入

動作環境

OS	Windows 10 / 11 (64bit) ※Mac非対応
メモリ	8GB以上 (数百枚以上を扱う場合は16GB推奨)
CPU	Core i5 相当 (4コア) 以上推奨
ストレージ	SSD 搭載モデル推奨
表示	表示スケール 100~150% 対応
ネットワーク	ライセンス認証時のみ必要。解析はオフライン可
インストール	不要。ZIP を展開して実行 (コード署名済み)

表示中の画像だけを展開する設計のため、測定やパレット変更の操作は枚数によらず軽快です。一般的なビジネス用ノートPCでご利用いただけます。

ライセンス・価格

59,800円

定価 (税込) / 1ライセンス (買い切り)

ライセンス方式	買い切り。月額・年額費用なし
利用台数	1ライセンスにつき PC 1台
PC買い替え時	ライセンス発行サイトから再発行 (年2回まで)
アップデート	同一メジャーバージョン内は無償。再認証不要
ご購入方法	オンラインショップ (BASE) よりダウンロード販売

導入の流れ



ご購入からご利用開始まで、通常10分程度です。

サポート体制

サポートサイト (使い方ガイド・操作動画・動作環境・ダウンロード) <https://thermal-jpc-support.vercel.app/>
AIサポートチャット サポートサイト右下から、操作に関するご質問に平日・休日を問わず即時回答
お問い合わせ オンラインショップのお問い合わせフォームより担当者が対応 (通常1~2営業日以内)

ご購入前のご質問 (お手持ちの機種での利用可否、業務での運用方法など) もお気軽にお問い合わせください。お手持ちの機種で撮影した画像をお送りいただければ、弊社で動作確認のうえご報告いたします。

株式会社イマジン

〒733-0037 広島県広島市西区楠木町2丁目1-22
TEL 082-230-3434

「Thermal-JPC」は株式会社イマジンの商標です (登録出願中)。記載の仕様・価格は2026年9月現在のものです。DJI、Matrice は DJI社の商標です。